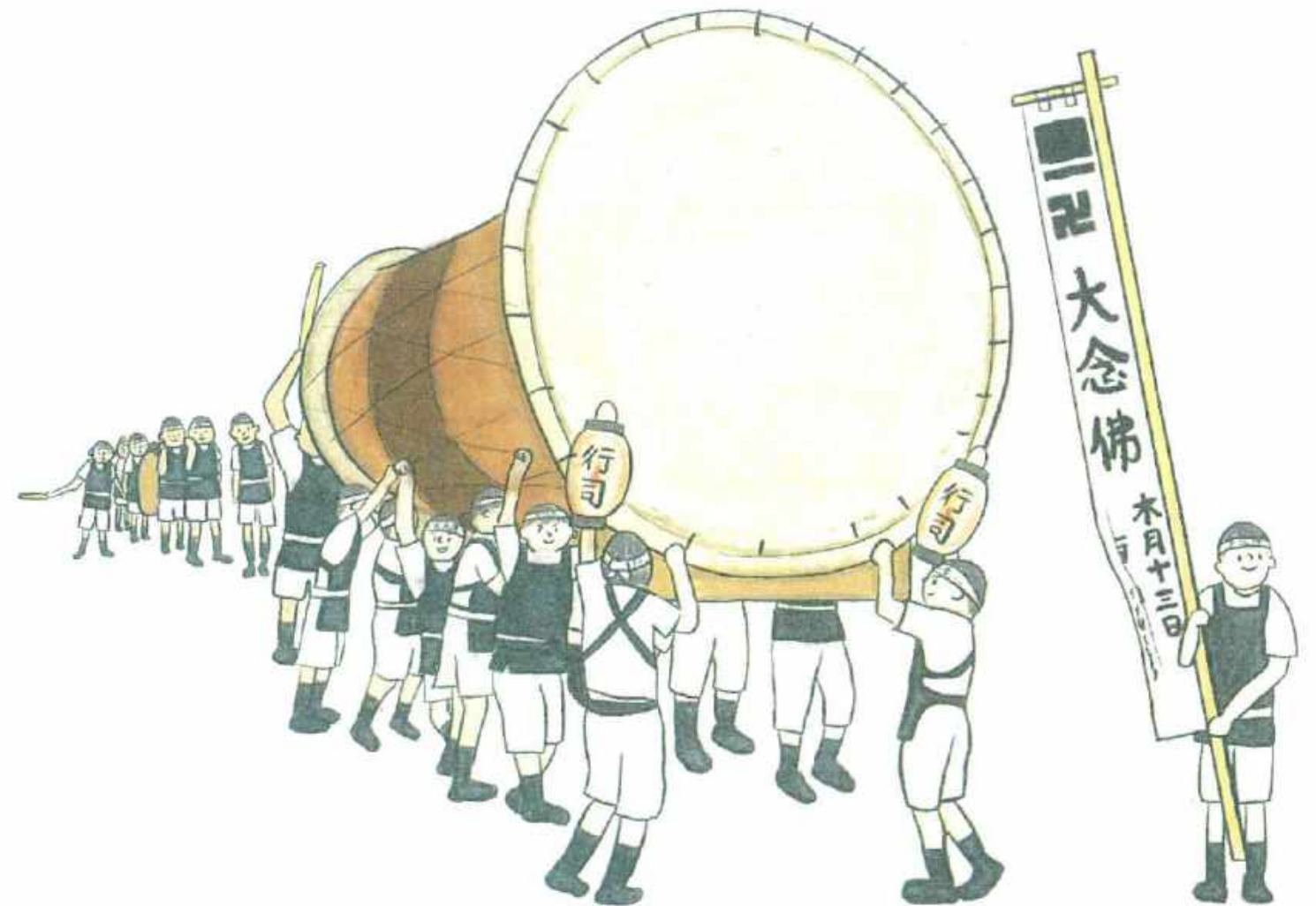


【東日野・西日野の大念仏】



担当 島田 泰成 (小2)

“みえまつりきょかたい”として、四日市市の
東日野、西日野の大念佛というまつりを体けんしゃいしました。
伝どうのあるまつりをみらいへつなげていくために、
そのみかをつたえたいと思います。

この祭りはいつから続いているの
か？大念佛の由来は？

- ・ 1321年の700年ほど前、この地域に出た悪魔を退治するために行われたのがきっかけに始まった。
- ・ 祭りは昭和30年3月に四日市市の無形民俗文化財に指定、平成25年3月25日には三重県の無形民俗文化財に指定された伝統ある行事。
- ・ 古くから長く続く伝統ある祭行事で、悪魔退治や五穀豊穡を祈念して行われていることが分かった。



壬午年、8月13日に、東日里予の大念佛、8月15日に、西日野の大念佛行事が行われます。今回は、東日里予の大念佛をしゃべりました。

祭りにはどんな人が何人ほど参加しますか？

- 地域の人達の、小学生～大人の方が参加。80人ほど参加者が集まらないと大念佛を行うことができない。声掛けをしても、なかなか参加者が集まりにくい。地域の高校生などがヘルプで来てくれたりとなんとか行うことが出来ている。

ちいさな人たちが、100人ほどあつたり、東日里予町のさいかじから、西日野町のけんしょうじまで、大だいにさかねをうたならながら、いそいそまわっています。

東日野町大念佛行事 8月13日

町役員による警備 2名

先 頭

カガミセミ 2人(町役員)
○ ○
高張提灯 2人
○ ○
幟旗 2人
○ ○

山車を引く綱
子供含む 20人

山 車
太 鼓

担ぎ手 15人
叩き手 5人

台車を引く綱
子供含む 20人

台 車
鉦

担ぎ手 15人
叩き手 4人

旗 15人
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○
○ ○ ○

後 尾

参加予定数 人

町民他観客 約150人

町役員による警備 2名

隊列
100m

20m

イテれつわけいり↓

【東日野・西日野の大念佛】詳細行程図



イテれつわけいり↓
人のはいり→



こんなに大きくておもいたいを、
 とうやうてかづぐことかてするの
 だらう？。
 と思いました。



祭りの見どころについて

- 直径2m、重さ290kgほどの大きな太鼓や、200kgもある鐘を沢山の人で担ぎながら境内を何周も練り回るところ。太鼓と鐘を打ち鳴らした時に響き渡る、迫力ある大きな音。”しめ”と呼ばれる、太鼓と鐘を連打した後に皆で「よおーお」と威勢の良い掛け声を上げるところ。

てらからてらへ行しんするとき、
 たいこを9打します。
 てらのけいだいをねり回るときは、10打します。
 1打するのめかかっているのですが、
 “しめ”ではれんだをするので、
 とてもたいへんだと思いました。

大念佛の祭りでは念佛を唱えるが、口で唱
 えるだけでなく太鼓や鐘を交互に決まった
 数を打ち鳴らすことで、念佛を唱えた事と
 同じ意味のある表現をしていることを知っ
 た。



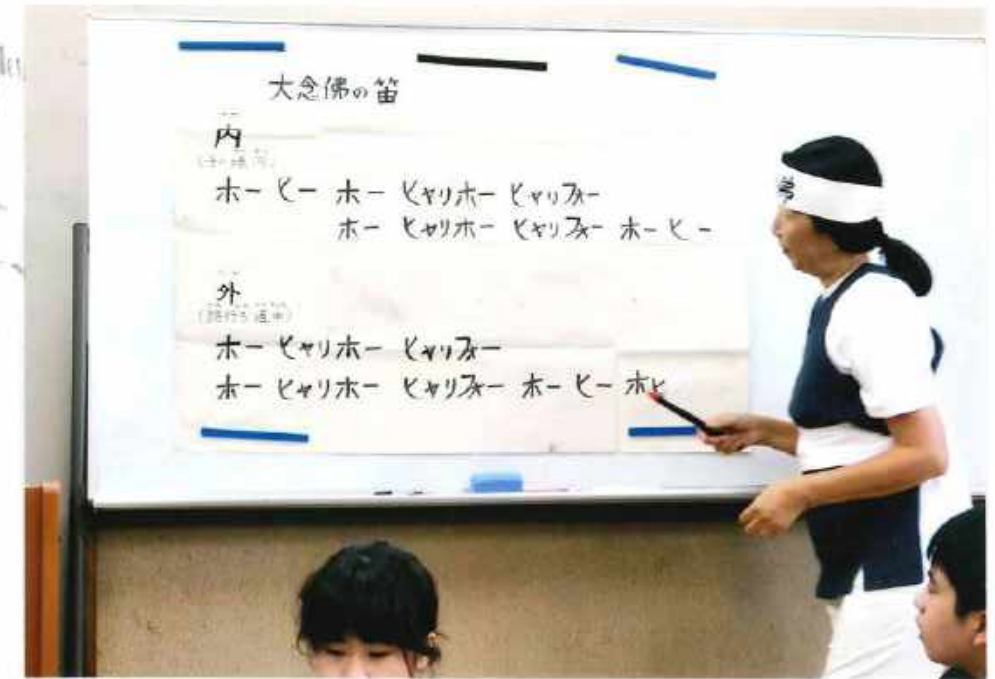


大きいたいこや、かゑをうちならす体けんをしました。
 たいこのしは"ぢ"が見ためは、かるそでったのにリョーに
 一本づつもって見たらすごくすごくおもたかったです。
 そんなおもたいはぢで"かづ"よくたたくのはたいいんだ"ぢ"でも



"しゅもく"といおえる、かゑをうつがぢの
 ようなもので、"かづ"よく思いきりうちな
 ことができたのでうれしかったです。

しのぶえをふく体けんでしは、
 さいしよは、むす"かして、すこしか音が
 でなかったけれど、なんとかふいているうちに、
 大きい音をだすことができました。



まつりのふえのふきでの子たちは、
 10回ほどぐんぐん吹いたそうですが、
 とても上手にふけていたので「すごいと思いました。」



まつりがはじまるのを前に、
いしろうをつけたかいきの人たちが、
ぞくぞくとあつまりだしました。





ごご"フジ"ご"えい"よいよま"フリカ"
 はいまりました。
 たいこ、かねの音、しのぶえ、ほら貝の
 音色やかけこ"え"が"ひひ"きあたまります。

おもくて大きなたいこと、
 かねをみんなて"か"ついで、
 けいざいをなんし"う"もねり目
 ります。





—ここがおススメ！—

直径2mもある大きな太鼓と200kgもある重いお鐘を見ることが出来る。また、力の限り打ち鳴らされて響き渡る太鼓と鐘の大きな音。念佛を唱えた事と同じ意味のある、太鼓と鐘を交互に決まった数を打ち鳴らす打ち方。境内での迫力ある勇壮な練り回り。



さいかくじを出しおつした"こと、かねをうちならし
ながらこうしんします。
大きなたいには、ほろいちふは"をきりきり
通っていきます。





けんしょうじしにとうちやくし
けいだいををねり回ります。

たくさんの人で、おもしろいこやかねを、かづいすがたし
とてはくカクがあります。
ちやうちんのあかりかともり、"よるのおまつり"というところか
かきだとおもいました。





てらのもんにたいこをぶつけないよう
きりきりくぐりぬけ、
またさいかくじへきたときとおなじ
けいろをこしらえてもどります。



さいかくじへもどり、ちかくのそこへ
たいにやかねをしまいます。
ぶじに大念仏がおおりました。
またらい年の夏にさんかしたいと思います。

⑤ 大念仏を見にくるかいきの人たちは、
とても多くて、さあなをかじました。
まフリのさんかしは、こうれいの方が多いので、
あはらしいでんとうをまもるため、
わかい人たちにもっとまフリのみりょくを矢口ってもらい
さんぐしてもらうことが、みつようだとかんじました。

